



議会だより

せとうち

2026

11.1

第88号



人文字で描いた「イソノカミ」

市議会BCP(業務継続計画)を

市議会BCP(業務継続計画)は、市内で大規模な自然災害等が発生したとき、市災害対策本部と連携することにより、市民の安心・安全の確保、被害の拡大防止、議会機能の早期回復を図ることを目的として、策定した。

議会運営委員会で協議を重ねるとともに、委員会に所属していない議員からも意見を聴き、議会全体で検討を行った。



策定後、定期的に計画の更新が必要では？

情報が錯綜するので、一本化して市対策本部に上げたほうがよいのでは？

他市の計画を参考に、本市独自のBCPにしては？

時系列に見る行動パターンをおおまかに設定してはどうか？

委員会以外の議員の意見も取り入れては？

様々な声を反映しました！

議会、議員、事務局の役割等を明記したほうがよいのでは？

瀬戸内市議会における災害対応規程に基づく議会議員の対応フロー

大規模災害発生

議長が必要性を認めたとき

瀬戸内市 災害対策本部

- 職員の動員
- 報道機関への情報提供、協力要請 防災行政無線の運用
- 被害情報の収集、応急措置
- 被害情報の報告
- 市民への情報窓口の開設等

情報提供

連携・協力

情報提供・活動支援

瀬戸内市議会 災害対策支援本部

【本部組織】

- 本部長……………議長
- 副本部長……………副議長
- 本部役員……………各会派代表
- 本部員……………上記以外のすべての議員
- 議会事務局

【本部の任務】

- ① 本部員の安否確認
- ② 本部員からの災害情報等の把握・集約
⇒ 市対策本部への情報提供
- ③ 市対策本部からの情報等の収集
⇒ 本部員への情報提供
- ④ 国、県、地元選出国会議員、関係団体等への要望

情報提供

情報報告・参集

【議員の役割】

- 自らの安否を支援本部へ報告
- 被災地・避難場所等における活動協力
- 被災地・避難場所等での情報収集
- 被災者に対する相談・助言

※ 市議会災害対策支援本部が市との連携の窓口になるので、本部員(議員)は、市災害対策本部には、直接連絡をとらないこと。

今後も検証を重ね、実効性のある計画として継続的に改善していく。

8月定例会

可決

地域ビジネス支援センター(仮)
完成へ
増額約4千900万円

令和2年の旧久駅前整備に伴う商工会移転から始まった、地域ビジネス支援センター整備が、足場も撤去され外観が姿を現している。センターには、商工会とハローワークの出先機関のジョブスポート及び、シニア層へ就労支援を中心とした「ゆめワークせとうち」無料職業紹介所が入る。それ以外に、コワーキングスペースとシェアオフィス、カフェスペース等が整備される。

追加の増額予算が提出され、全会一致で可決した。

問 増額の内訳は。

答 工期延長に伴う諸経費と、

擁壁、水路工事の追加及び、受変電設備、造作家具、テナント区画の変更である。

事業費

基本設計	約	1,000万円
実施設計	約	3,300万円
埋蔵文化財調査	約	3,100万円
事前家屋調査	約	600万円
建築工事	約	8億5,700万円(見込み)
工事監理	約	2,300万円(見込み)
事後家屋調査	約	600万円(見込み)
合計	約	9億6,600万円

交付金：地域未来交付金(補助対象事業費の2/1)

一般財源からの支出：約2億7千万円

議論の経緯

令和2年	J R駅前整備のために、商工会移転の交渉開始
令和5年5月	商工会が、市役所本庁西側にある土地を購入
令和5年8月	概算事業費8億円で、整備基本計画を作成
令和6年3月	令和6年度予算に地域ビジネス支援センター設計予算約5千万円が計上される(事業費は10億円に増大) 予算を、付帯決議を付して可決 1. 経過や整備状況について、議会へ適宜報告すること 2. ビジネス拠点としての機能を有するものにすること
令和6年8月	設計変更に伴い、約3千万円を増額
令和7年12月	工期を令和8年11月27日まで延長
令和8年5月	運営委託業者にカルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社が決定 約7,700万円
令和8年9月	設計変更に伴い、約4千900万円を増額
令和9年1月	プレオープン予定
令和9年3月	グランドオープン予定



8月議会提出の補正予算8件、条例5件、その他6件すべてについて全会一致で可決した。

人事案件

●人権擁護委員候補者に

河野 弘道 (かわの ひろみち) 氏

山本 弘 (やまもと ひろむ) 氏 の2名を推薦することに同意

(任期は令和9年1月1日～令和11年12月31日)

岡山市議会議員研修会

令和8年8月4日

岡山市議会議長会主催の議員研修会が、総社市で開催された。

【演題】「SNS・生成AI時代における市議会議員の情報リスク対策」

【講師】国際大学グローバル・コミュニケーション・センター教授 山口 真一 氏

【講義内容】

SNSは「人類総メディア時代」をもたらし、政治参加の裾野拡大や経済効果などのメリットを生みつつ、過激な情報の拡散、分断の加速、政策議論の不可視化という構造的課題を増幅している。



研修風景

SNS問題において情報社会のフェイク情報・誹謗中傷・分断はさまざまなアプローチで改善可能であることを理解する必要がある。

SNS活用では他者を尊重し自己肯定感を高めながら、リスクを理解した戦略的な活用を通じて、民主主義を支える健全な情報化社会を実現していく提言があった。

改めて私たちは立場をわきまえ、市民への影響を理解し、信頼される情報発信を心掛けたい。

議会運営委員会

令和8年8月7日

視察先：岡山県真庭市

内容：新たな政策形成サイクルについて

本市でも議会基本条例に基づき議会報告会を行っているが、参加者の少なさ等そのあり方を模索している。真庭市議会では、市民との対話を重ねながらテーマを決め2年間かけて政策立案を進め、全議員で議論した上で政策提言につなげている。議員だけでなく市民も巻き込んだ取り組みに学ぶことが多くあった。本市でも市民の声を政策につなげる新たな議会のあり方を、検討していきたい。



視察風景

議会広報編集特別委員会

令和8年8月5日～6日

視察先：広島県世羅郡世羅町

内容：議会だよりの編集について

AIや写真を上手く活用し「シンプル、わかりやすさ、簡潔に」を心がけた議会だよりの編集について学んだ。

視察先：島根県出雲市

内容：議会だよりの編集について

まずは手に取って開いてもらえることを重視し、読みやすさに工夫を凝らした紙面づくりについて学んだ。



出雲市視察風景

本市でも、より身近で読みやすい議会だよりに生かしていきたい。

道の駅「黒井山グリーンパーク」と道の駅「一本松展望園」の現状について調査した。

【道の駅の今後の活用について】

問 道の駅「黒井山グリーンパーク」は、今年度賑わい創出として新たにカフェ・パン屋がオープンした。道の駅「一本松展望園」も同様に、今後の活用の方向性を示す必要がある。

市として具体的な計画を立て、有効活用していく考えはあるか。

答 道の駅の再整備構想を策定しているが、中・長期的な取組の具体的な期日は決まっていない。関係各所と協議し、早急に取り組んでいきたい。



丘の上そらいろカフェ
(黒井山)

【観光は「日帰り」から「滞在」へ】



福岡の棟貸し宿
一刀（せっぽ）

問 備前長船刀剣博物館を中心とした刀剣観光は、日帰り観光になりがちだが、市内に長く滞在してもらうため、宿泊を見据えた施策が必要ではないか。

答 滞在時間の延伸は、地域での消費額の向上につながるため重要だと考える。市内滞在の施策とした「山鳥毛」宿泊プランは完売し、付加価値を付けたプランに確かな需要が実証された。また、長船地区でも古民家を改修し、刀をテーマにした宿がオープンするなど、市として民間事業者等と連携し、滞在時間の延伸を図っていきたい。

株式会社カチタス、株式会社AlbaLink、Uber Eats Japan合同会社、株式会社トヨタレンタリース岡山との官民連携について調査した。

【Uber Eatsとの連携】

問 Uber Eatsの利用方法が分からないとの声がある。使い方の流れを分かりやすく発信・説明が必要ではないか。また、外食だけではなく、「買物難民」の方の活用も考えられる。スーパー等で食材など配達してもらうことはできないか。

答 利用しやすいように、分かりやすいチラシを作りたい。買い物が不便な地域でも、自宅で外食を楽しめるだけでなく、暮らしの支えにもつなげたい。また、他自治体でコンビニやドラッグストアと連携して、おむつや洗剤等の日用品が配達できる仕組みがある。

※ 議会から、本市でも取り組みを依頼した。

ゼロカーボンシティ推進事業の進捗

さまざまな自治体で二酸化炭素の排出を抑える「脱炭素宣言、ゼロカーボンシティ宣言」を行っており、わが市でも2021年2月に宣言している。

本市では、環境省の交付金事業である「重点対策加速化事業」「脱炭素先行地域づくり事業」の採択を受け、「脱炭素、ゼロカーボン」の実現を一層推し進めている。

本市は、国、県の策定する計画目標を10年早めて、「2040年ゼロカーボン社会の実現」を目指している。

ゼロカーボンシティ推進事業の進捗と令和8年度の計画を調査し、市民病院と福山浄水場の太陽光発電設備を視察した。

【住宅用申請受付状況】※令和8年8月10日時点（審査中のものを含まない）

対象設備	予算額	申請件数	申請額	予算残額
①太陽光発電設備	24,268,000円	15件	10,220,000円	14,048,000円
③高効率空調機器	13,000,000円	157件	12,993,000円	【受付終了】7,000円
④高効率給湯機器	5,000,000円	25件	5,000,000円	【受付終了】0円
⑤電気自動車等	800,000円	0件	0円	800,000円

【事業者用申請受付状況】※令和8年8月10日時点（審査中のものを含まない）

対象設備	予算額	申請件数	申請額	予算残額
①太陽光発電設備	37,500,000円	4件	13,150,000円	24,350,000円
③高効率空調機器	15,000,000円	9件	1,520,000円	13,480,000円
④カーシェアEV	1,000,000円	0件	0円	1,000,000円

問 一般家庭への導入が進んでいない。対象地域の拡大や、対象世帯への丁寧な説明が必要ではないか。

答 対象地域の拡大は現段階では難しく、玉津・裳掛地区でチラシ配布や出張相談会を続ける。令和9年度以降は機器の実演なども行い、理解を深めたい。

問 電気自動車の普及が進まない要因と、市内への急速充電設備の整備をどう考えているか。

答 補助制度の条件や導入費用が課題と考えている。急速充電設備は、性能により設置費や維持費が大きく異なるため、設置場所や利用見込みも含めて検討している。

一般質問

- 相澤 忠明**（7ページ）

 1. 瀬戸内市民病院の経営改善と今後の在り方について
 2. 公共施設等の無料Wi-Fi環境の利便性向上について
 3. 防災備蓄品のデジタルを活用した管理について
- 小谷 和志**（8ページ）

 1. 市営住宅について
 2. 園庭開放について
 3. 道路整備について
- 日下 俊子**（8ページ）

 1. ゆめトピア長船について
 2. 新しい自治組織制度について
 3. 水道について
- 河本 裕志**（9ページ）

 1. 長船駅について
 2. 高齢者対応について
 3. 障がい者支援について
- 原田 茂**（9ページ）

 1. 農業政策について
 2. 自治会の活性化策について
 3. 障がい者福祉について
- 川勝 浩子**（10ページ）

 1. 子どもたちの健やかな育ちの環境のために
 2. 防災対策について
 3. 支所・出張所及び教育委員会の今後の在り方について
- 成本 崇**（10ページ）

 1. 「お迎え型病児保育事業」の導入について
 2. 学校教育における「OECDリーディング・コンパス2030」及び「ARサイクル」の導入について
 3. 小規模多機能自治体の導入と集落支援員による推進について
- 島原 舞**（11ページ）

 1. 行政コスト削減に向けた郵便局への行政業務委託と市民サービスの向上について
 2. 脱炭素社会の実現に向けた公共施設へのマイボトル対応給水スポットの設置について
 3. 水スボットの設置について
 4. 広報紙のデジタル化推進について
- 谷 美香**（15ページ）

 1. 児童・生徒が健やかに学校生活を送れる環境整備について
 2. 児童・生徒が健やかに学校生活を送れる環境整備について
- 木下 公文**（15ページ）

 1. 自治会を対象とする市民活動応援補助金について
 2. 地域経済の活性化及び地元産業の振興策について
 3. 鹿忍港のしゅんせつ工事について
 4. 牛窓地域の市有施設について
- 原野 健一**（14ページ）

 1. 企業誘致について
 2. 錦海塩田跡地のメガソーラー用地について
 3. 消防団組織について
- 石原 芳高**（13ページ）

 1. 決算審査意見書について
 2. 職員のコンプライアンスについて
- 増田 貴之**（12ページ）

 1. 農業問題について
 2. ごみ行政について
 3. 駅前等の整備について
- 廣野 真智子**（13ページ）

 1. 安心・安全のまちづくりについて
 2. 観光振興について
- 秦井 誠司**（11ページ）

 1. 子どもの遊び場について
 2. 市営バスについて
 3. 病院事業について
- 島津 幸枝**（12ページ）

 1. 中学校部活動の地域移行について
 2. 市民病院の今後の在り方について
 3. 支所・出張所の今後の在り方及び教育委員会の移転について
- 厚東 晃央**（14ページ）

 1. 子育てしやすいまちについて
 2. 障がい者とその家族への支援について
 3. 安全・安心のまちづくりについて
 4. 前例主義を超える攻めの行政運営への転換について

写真：咲き誇るコスモス（長船町磯上地内）



相澤 忠明

問 市民病院の経営改善と今後の在り方は

答 2月議会までに一定の方向性を示したい



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。



瀬戸内市民病院

問 市民病院の経営状況と具体的な改善策、今後の在り方は。

病院事業管理者

問 公共施設の無料Wi-Fiの案内と拡充は。

総務部長

今年度中に市ホームページに利用できる場所を示すスポットマップを掲載する。刀剣博物館や道の駅などへの設置は、利用者のニーズや財源を踏まえ検討する。

問 防災備蓄品のデジタル管理と市民への情報公開は。

総務部参与

国の物資管理システム「BIPLO」を導入し、市内32施設の備蓄品の数量や保管場所を一元管理している。一般市民には公開されていないが、備蓄状況は広く公表していきたい。



河本 裕志

問 長船駅エレベーター設置はどうする

答 様々な財源を模索し考える



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

市長

基金をつくる選択肢もあるが、3・5億円として人口1人当りに直すと1人約1万円である。

問 設置費用を目的別基金として創設すれば、設置の時期が市民に分かるのではないかと見込んでいる。

産業建設部長

約3・5億円はかかる。

問 高齢化が進みJR長船駅のエレベーター設置は急務で、長年の市民からの強い要望であるエレベーター設置費用はどのくらいか。

問 長船駅の乗降客は。

成長戦略部長

令和7年度末、一日あたりの乗降客数は、2032人である。

問 そのような答弁は失礼である。「市が行う事業を全て市民1人当りで考える。」では、10世帯の市営住宅建設に必要となる3億円をどう説明するのか。

市長

市民が困って、なんとかしてほしいという思いを財源捻出して応えていくのが行政ではないのか。過去にもJR駅前整備で、企業版ふるさと納税でお金を集めた実績がある。様々な選択肢を模索しながら財源を考える。



エレベーター設置が待望の跨線橋(長船駅)



原田 茂

問 農家と農業の今後の生き残り策は

答 最優先課題は、農業所得の向上



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。



お米の価格が不安定では生産者も消費者も困る

市長

障害福祉の観点でより多くの優先調達を取り組んでいきたい。どのような業務が依頼できるのか、検討を鋭意進めている。

問 優先調達の単価と量と種類を増やすべきでは。

成長戦略部長

問 自治会と地域を活性化させるような条例を制定する考えは。

現在、市の施策としても作物のブランド化推進に加え、販路拡大に向けた百貨店等への営業活動を積極的に展開している。今後も、現場の農家の皆様の声をしっかりと聞き、力強く進めていく。



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

小谷 和志

問 長船地区の市営住宅の計画を

答 様々な選択肢を考えていきたい



産業建設部長

問 市内には市営住宅が18団地(邑久地区3団地・長船地区8団地・牛窓地区9団地)ある。現在、邑久地区で建設をしている。進捗状況は。また、完成の予定は。

産業建設部長

問 新しくできた住宅への入居予定者は決まっているのか。

邑久地区の現市営住宅は30戸である。そこにお住まいの方は、転居してもらう計画である。



令和9年完成予定の邑久地区市営住宅A棟(邑久町福元)

市長

問 若い子育て世帯を優先して入居できるようにしたり、長船地区も古いので、今後は計画してもらえんと思っているが、検討してほしい。

市営住宅の趣旨、目的に立ち返り、様々な選択肢を考えていきたい。



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

日下 俊子

問 県広域水道料金の値上げは影響するか

答 水道料金の改定につながるものではない



上下水道部長

問 本市の水源は福山浄水場、長船水源、岡山県広域水道企業団からの受水の3つある。広域水道は県下16市町村が受水しており、本市の責任水量は約2千トンとなっている。5年ごとに料金設定の見直しが行われ、今年が見直しの年に当たる。

瀬戸内市の水源と水量

	福山浄水場	長船水源	岡山県広域水道事業団からの受水
施設能力(1日当たり)	1万トン	5,000トン	5,200トン
一日平均給水量	6,300トン	3,300トン	2,080トン
余力水量	約3,700トン	約1,700トン	約3,120トン
年間費用	一概には計算出来ない		約1億1,000万円

※0.4

成長戦略部長

問 新しい地域自治組織の導入が平成26年から検討されているが、一向に進んでいない。地域と市役所の関係は希薄になるばかりだ。市が以前導入するとして地域担当職員を置いてはどうか。

集落支援員等の配置等に対応を考えていきたい。





川勝 浩子

問 傷んだ幼稚園の絵本の対応は

答 予算内で買換えや新規購入を進める



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

問 幼稚園の蔵書である絵本は、かなり傷んでいるものが多いが、対応はどのように考えているのか。

教育長

傷みが生じているものが大半だと把握している。予算内で計画的な買換えや新規購入を進めていく予定。市民図書館とも移動図書館車や団体貸出など連携をしていく。



傷みが目立つ幼稚園の絵本。計画的な買換えや新規購入が求められている。

問 小学生の登下校時の熱中症・紫外線対策は。

市長

検討段階である。

問 跡地利用や教育委員会の移転先は。

市長

問 まだ検討を始めた段階だが、もし支所の業務を郵便局に委託することになった場合、委託する業務はすべてなのか。

法律上委託できないものを除き、可能な限り委託する方向。相談業務に関しても委託で考えており、例えばタブレット端末などで本庁の担当課と直接話せる仕組みなどを模索する。



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

問 脱炭素・プラスチックごみ削減・熱中症対策として、公共施設にマイボトル専用の無料給水スポットを設置しては。

市長・難波副市長

水分摂取を気軽にできる環境づくりは熱中症対策の観点でも非常によい。脱炭素にもつながる取組なので、前向きに検討したい。



公共施設や公立学校に設置を望むマイボトル専用の無料ウォーターサーバー

鳶原 舞

問 無料給水スポットを設置しては

答 前向きに検討したい

問 支所・出張所の郵便局への行政業務委託について、市民感情への配慮と、その後の施設の利活用案を慎重に検討す

問 広報紙の電子化と紙媒体配布の見直しについて今の検討状況は。

村山副市長

電子化はコスト削減や行政委員の負担軽減の利点はあるが、紙を廃止して一気に移行できる状況ではない。デジタル媒体も見たくなるよう環境整備を進めたい。



成本 崇

問 地域自治組織づくりに集落支援員活用は

答 集落支援員配置は要望に応じて検討する



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

問 自治会の担い手不足が進む中、複数の自治会が連携する「※小規模多機能自治」の構築が必要だが、各自治会には新たな組織をつくる余力がないのが現状である。地域からの要望を待つのではなく、行政側から積極的に「集落支援員」を配置し、※地域自治組織づくりをサポートするスキームへ転換すべきではないか。

成長戦略部長

組織づくりの支援手段として集落支援員が活用できることについては、地域へ周知を図っていく。

成長戦略部長

集落支援員の地域自治組織への登用については、「住民の主体性」が大原則であるため、地域からの要望や推薦があれば相談に応じて検討していく。



地域自治組織の概要イメージ

※「小規模多機能自治」とは
自治会単体では解決が難しい課題に対し、小学校区などの範囲で、地域の様々な団体が協力して総合的に取り組む仕組みのこと。

※「地域自治組織」とは
その仕組みを実現するために、地域の自治会や各種団体を束ねて実際につくられる実行組織のこと。

問 令和7年度瀬戸内市病院事業会計決算書によると、病床利用率は向上しているが、収支比率がマイナスである。その理由は。

病院事業管理者

問 病院経営の強化に対して、運営審議会の開催頻度を上げられないのか。

病院事業部長

収支比率がマイナスとなった背景には、主に3つの要因がある。入院患者1人当たりの収入が減ったこと、職員の処遇改善などによる給与費の大幅な増大、物価高騰による診療材料費の上昇と考える。

問 子どもの遊び場についての具体的な取組は。

難波副市長



安心して通える病院を、これからも地域に

今年度は財政支出を抑えながら遊び場充実の考えの中で、補助金制度をつくり民間活力を使って、屋内型の遊び場をつくる事業に2件の応募があった。さらに、公立保育園の遊具を市民に使用してもらえよう、日曜祝日の園庭開放を試験的に進めている。

プレーカーは継続できるように研究する。



廣野 真智子

問 普通救命講習を定期開催した効果は

答 受講しやすい環境が提供できている



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。



定期開催された普通救命講習会(瀬戸内市消防本部)

職場単位での参加が増え、受講しやすい環境が整ったため、定員30人を超える場合や定員以下でも柔軟に対応し、家族での参加にも対応している。今後もSNSや広報誌等を活用して周知を図り、講習会の様子を発信しながら受講者拡大と再受講を促進していく。

問 定期開催を始めた普通救命講習会を問う。

消防長

消防長

問 消防署設備を問う。

牛窓分駐所は移転と建替を検討している。本署は経年劣化と今の時代に合わせて、整備を計画的に進める方針である。

問 牛窓観光施策を問う。

成長戦略部参与

駐車場確保に向け、民間の空き地や遊休地の活用を検討していく。観光コンテンツの充実や情報発信、宿泊施設の誘客にも取り組み、観光客の誘致と周遊の促進に努める。

問 トイレ整備を問う。

成長戦略部参与

瀬戸内市立美術館は今年度中に多目的トイレを設置する。備前長船刀剣博物館は令和9年度から和式トイレの洋式化を順次検討をしている。



石原 芳高

問 決算審査意見書の指摘事項について

答 重く受け止め、適正な行政運営に繋げる



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

問 決算審査意見書の中で収入未済額の表示や、随意契約についての指摘、キャッシュレス決済への対応が求められているがどのように受け止めているのか。

会計管理者

監査委員からの意見を重く受け止めている。会計事務については、各部署全体が正しく理解し、確認が出来る体制となるよう周知を図る。研修等によりできる限り、指摘を受けることがない適正な行政運営に繋げていきたい。

問 職員のコンプライアンスに対する意識をどのように考えているのか。

合併から20年を経過し、改めて業務に対する意識や取組方を精査すべきではないか。

総務部長

合併から20年以上が経



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

島津 幸枝

問 支所を廃止することによるデメリットは

答 一番大きいのはイメージ



問 行政報告に、支所及び出張所の業務を郵便局に委託することで市民の利便性向上を図るとあるが、支所を廃止することによって生じるデメリットをどのように考えているか。

市長

一つ目は、郵便局が撤退する場合にどうするか。二つ目は、どこまでを業務委託できるか。三つ目は、一番大きいのが地域から支所がなくなるというイメージかと思っている。

問 周辺地域は高齢化・人口減少が進み、集落の維持が大変になってきている。支所を廃止する議論とは逆で、今こそ支所機能を充実すべきではないか。

市長

支所、出張所に行かなくても行政サービスが受けられるまちづくりが根



長船支所



愛掛出張所



牛窓支所

と考えており、3つしかない支所、出張所を10局に広げることが一番市民のためになるのではないかと思っている。何も決まってることはないの、市民や日本郵便株式会社様と議論し、進めていきたい。

増田 貴之

問 ジャンボタニシの被害を把握しているか

答 今後データ収集の方法含め検討していく



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。



問 ジャンボタニシによる水稲への被害状況をどの程度把握しているのか。また、薬剤等購入に対して市からの支援を行えないか。

産業建設部長

直近のデータ等はない。データの収集方法や、長期的なデータ収集もできるか等含めて検討していく。そのうえで被害が大きければ補助も検討する。



ジャンボタニシによる食害

問 旧指定ごみ袋の在庫数量は。また、市民への還元は考えないのか。

環境部長

黄色の袋が大5万9867組、小2万6621組、特小8204組で、透明の袋が小500組である。市民への還元は、青色へ変更したばかりなので時間が必要。

問 不分別や旧ごみ袋でのごみ出し等への環境衛生委員や管理者の負担対策は。

環境部長

周知啓発と、生活環境課に連絡いただき、個別に検討する。

問 長船駅にエレベーターを設置するため、バリアフリー基本構想を策定しては。

産業建設部長

周辺の整備も必要になるため、現時点では困難。



木下 公文

問 地元要望の鹿忍港浚渫工事の進捗は

答 早期着工に向けて県と連携し進めていく



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。



早期に改善を求めている鹿忍港

6月に関係者に説明を行い同意を頂いた。今後県において詳細な工法等の設計を進めていただき、改めて関係者に説明を行う。決定した計画は地元説明会を開催し、地域の理解を得ながら取り組んでいく。

産業建設部長

問 先日、県に浚渫工事要望に行った。近隣の家屋との調整ができれば、かなり前向きに工事を進めると聞いたが、合意形成はどの程度進んでいるのか。

市長

問 地域経済の活性化において、企業誘致は必要な施策の一つとして位置付けられているが、企業が進出するにあたり、どのような課題や不安を抱えているのか。

現在、様々な企業にトップセールスを行っている中で、土地があるのか、水や電気、交通網等の確保はできるのかを聞かれている。様々な条件の中で、ベストな提案をした。

問

昔から地元を支えている企業の支援や活性化が大切である。市外や県外の事業者に対して発注の振分が多いと感じるが見解は。

難波副市長

市発注の土木工事は、受注者が下請選定や資材調達する場合に市内事業者を優先して活用するよう明記をしている。



谷 美香

問 分娩施設減少への対策は

答 近隣と連携し改善を求める



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。



「子育てを楽しむ」を実現するために安心して暮らせる環境づくりを推進したい。

市長

問 分娩施設の減少は瀬戸内市だけの問題ではなく、広域的な課題である。近隣自治体と連携できるような協議を始めたい。

問 焼却処分している給食の残菜を、飼料化や肥料化し、地域循環をさせてはどうか。

教育次長

飼料化や肥料化は、食育の面でも意義ある取組であり、他自治体の先進事例を研究したい。

健康福祉部長

問 近隣の分娩施設が減少している現状を、市の認識と今後の取り組みは。

問 産後ケアを社会インフラとして、当たり前利用できるように、より分かりやすい情報発信をしては。

こども未来部長

利用しやすい事業であることを丁寧に説明し、効果的な周知方法を研究する。



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

厚東 晃央

問 避難所となる体育館にエアコン設置を

答 小学校の体育館は来年度以降進める



エアコン設置が望まれる小学校体育館(邑久小学校)

体育館への空調設備の整備は重要な課題である。

教育次長

問 災害時の避難所となる小学校や社会体育施設(邑久B&G海洋センター)体育館、長船スポーツ公園体育館、玉津体育館)にエアコン(空調設備)がない。夏場の暑さを考えると設置が必要である。計画は。

難波副市長

国で財源を準備するという話もあるので、検討していく。

総務部参与

問 市内には福祉避難所が14施設あるが、障がい者やその家族が避難できる福祉避難所は3施設である。施設を増やすべきではないか。

福祉避難所は、災害発生時に高齢者や障がい者の安全を確保し、生活環境を提供する拠点であり、充実が必要と考えている。福祉避難所の新規指定に向け調整を行い、指定を進める。



個人質問の映像を録画放映でご覧になれます。

原野 健一

問 アイリスオーヤマ社とその後のコンタクトは

答 来秋頃には工事着工すると説明を受けている



なかなか進まない、第2宮下産業団地

問 令和6年11月、アイリスオーヤマ株式会社と本市は、企業誘致として、立地協定及び包括連携協定を締結した。未だに工事が始まりそうない。今後の誘致企業とのコンタクトはきちんと取れているのか。

市長

その後6月16日にアイリスオーヤマ社の管理本部長が岡山県庁に来庁され、そこでスケジュールを見直しを得ないという説明を受けた。それとともに、6月19日と直近では8月27日に担当者が本市役所にも来庁され、同様の説明を受けたところである。

産業建設部長

問 錦海塩田跡地のメガソーラー用地について、現在までに受け取った土地賃貸料の総額とその残高はいくらなのか。

令和8年3月末日現在での事業に関する貸付料の受取額の総額は43億500万円となっている。基金残高は約20億円である。



★地域のかがやき★

地域の写真を市民のみなさんから募集します
(下記メールアドレスにお送り下さい)



スポーツフェスタ
(邑久スポーツ公園)



奉納子供相撲
(鞆負神社)



ちびっこカラオケ大会
(黒井山)

議会報告会中止のお知らせ

今年度の議会報告会は中止とします。
今後は、これまでの取り組みを見直し、
市民と議会の対話を市政にいかす新たな
仕組みを検討しています。



美和神社の神ト神事



神に神事の様子

広島山に鎮座する美和神社（長船町東須恵）は、明治以前は「広高八幡宮」と呼ばれていました。明治二年の調査で、「延喜式」に記載された式内社美和神社であるということが判明し、現在の社名に改められました。

同神社では、毎年三月初旬の日曜日に「神ト神事」が行われます。これは、氏子が栽培する作物の出来を占う神事で、もとは流鏑馬で占っていたものが、いつの頃からか籤占いに変わり、現在の形となったと伝えられています。

神事では、竹筒に上・中・下と書いた竹串を入れ、お祈りの後に一本を引きます。「上」は豊作、「中」は例年並み、「下」は不作を示し、稲（早稲・中稲・晩稲）、大豆、小豆、芋の出来を占います。

神事は一般公開されているため、ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか。

次回定例会の予定

(インターネット中継のある日)

都合により、日程が変更となる場合もあります。

11月25日(水)	本会議	9:30～
12月 2日(水)	本会議	9:30～ 一般質問
3日(木)	本会議	9:30～ 一般質問
4日(金)	本会議	9:30～ 一般質問
7日(月)	本会議	9:30～
18日(金)	本会議	9:30～

※本会議場で行う予算委員会も中継しております。(生中継のみ)

12月17日(木) 9:30～

編集後記

朝晩に秋の気配を感じる季節となりました。市内では毎週のようにさまざまな催しが開催されており、瀬戸内市民芸術祭も開催中です。

集う人々の姿や街中の声に、季節の移ろいとともに、瀬戸内市の活気を感じます。

そのような日々の暮らし等に関する、さまざまな課題が今議会でも議論されました。

今号では、議会広報編集特別委員会の視察についてもご紹介しています。議会でもこんなことが話しかかれていたのかを知っていただき、議会を少しでも身近に感じていただければと思います。

実りの秋に、皆さまにとりまして新しい発見や実りのある日々となりますように。

(廣野 真智子)

●お問い合わせは議会事務局 (0869) 22-0979までお願いします。

E-メールアドレス gikaijimu@city.setouchi.lg.jp

瀬戸内市議会ホームページアドレス <https://www.city.setouchi.lg.jp>

*この市議会だよりは一部ユニバーサルデザインフォントを使用しております。

会議の様子を、生中継および録画放映でご覧になれます。



この市議会だよりは再生紙を使用しています